

おもむいてゐる。知新館に在りて石
氏部族を誼と有り。飽海郡吹浦村孫氏の
り。亦天正年中氏部判とある。感状有
何人ともや未考。

一、河江館

河江は古くは名よりて、各地の旧号之
續大平記は河江小田原とあり。河江館の
なり。一、や代々白鳥の後下よりて武
任の氏、橋岡勅十郎一平にといふ人、居
て武任亡ての後、光橋岡より武勇を惜て

招め、大志よりて、その討れ、る事を云
急よりい中野といふ所に出城を接て、山形
勢とお戦ふ。其備論は、越より山形の家士
浦中源忠実より、統よりて、大將討れられ
ハ、河江勢、光一、降参に、是事、羽源記は
見、より、嘉永、知新館に、一、九、子、三百石
を、河江、肥前とあり。橋岡氏亡て、後、は、館を
領を、一人、や、光、相、天、嘉、永、三、橋、の、系
下、は、左、邊と、一、て、傳、三、十、騎、と、れ、一、事、あり
勅十郎討れ、る、後の、事、なり、一、